

御 挨拶

一般社団法人 沖縄県損害保険代理業協会の創立50周年、心よりお祝い申し上げます。

1975年の創立以来、歩んでこられた道のりは、沖縄県の歴史背景や社会経済の急激な変化に対応し、幾多の苦難を乗り越えながら協会の基盤を築き、活動を続けてこられた歴代会長、役員、そして会員の皆様方のご尽力の賜物であり、改めて深い敬意を表します。また、一貫して日本代協の活動を支えていただいておりますことに、心より御礼申し上げます。



現在、沖縄県代協は大城会長が掲げる「3つの事業方針」のもと、会員企業の成長とプロとしての信頼向上に邁進されています。「チーム沖縄」の協力体制による活動は、会員各社の経営基盤を強化し、業務品質の向上に繋がっています。業界の構造改革が進む中にあっても、切磋琢磨しながら互いを高め合う、素晴らしい交流を生み出していらっしゃいます。

長年発行されている機関紙「守礼」には、その活動の軌跡が克明に記録されています。自社事業に邁進する会員紹介や、大きな成果を上げている社会貢献活動の数々。毎年、家族や諸団体が参加して行う海岸清掃の皆さんの笑顔や、「ぼうさい探検隊マップ表彰式」で子どもたちの安全意识を称える会員皆様の温かな姿が印象的です。

こうした活動を支える想いは、先輩方から継承されてきた大切な財産です。そして皆様は、若い感性を取り入れながら、保険代理店が地域との接点や役割を拡げる取り組みを実践されています。「50周年行事を必ず成功させたい」という大城会長の熱意と、準備に尽力された会員皆様の努力こそが、貴協会の絆の強さそのものです。本日、全国の仲間と共に祝うこの式典が、皆様の記憶に刻まれる素晴らしい時間となることを確信しております。

2026年は、業界にとって引き続き大きな変革の年となります。昨年の保険業法や監督指針の改正に続き、さらなる改正が予定されています。代理店の業務品質を評価する共通指針が策定され、自己点検チェックシートを通じた保険会社との対話も本格化しました。こうした激しい環境変化の中にありながら、代協会員の皆様は「法令遵守」と「顧客本位の業務運営」を徹底されています。形のない商品だからこそ、積み重ねてきた「信用」こそが、お客様にとっての最大の安心です。私たちの仕事を通じて業界全体の健全な発展に貢献し、さらなる高みを目指してまいります。

沖縄県代協が、地域社会から「なくてはならない存在」として輝き続け、より強靱な安心・安全のネットワークを築き上げられることを確信しております。これからの50年、新たな未来へ向けた「リスタート」への祝辞とさせていただきます。

一般社団法人日本損害保険協会 会長 小田島 綾子